

三重県入札等監視委員会 審議概要（平成30年度 第1回）

開催日及び場所	平成30年5月31日(木)14:00~16:00 JA三重健保会館 3階 大研修室	
出席委員	委員長 林 拙郎 副委員長 福島 礼子 委員 木本 凱夫 委員 長谷部 拓哉  委員5名中4名出席	
審議対象期間	平成30年1月1日から平成30年3月31日	
抽出案件	総件数 4件	(備考)
一般競争入札	2件	
指名競争入札	1件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	特になし	

入札等監視委員会 平成30年度 第1回定例会（平成30年5月31日）	
意見・質問	回答
入札・契約事案の審議について	
工事名 ①三重県松阪庁舎 受変電設備等改修工事〔営繕課〕	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・低入札調査制度対象工事ということで、下請け業者へ施工能力についてヒアリングを行ったということだが、ヒアリングはどのように行っているのか。</li> <li>・入札参加者数が少ないようだが、通常電気工事はこれぐらいか。</li> <li>・評価に違いが出てきたのはどのような項目か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話により行った。</li> <li>・今回は特定JVによる対象工事ではありますが、特定JVの場合参加者数は少ない傾向にある。</li> <li>・地域精通度が一番の違いである。</li> </ul>
工事名 ②一般国道25号(五月橋) 橋梁上部工工事〔伊賀建設事務所〕	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県との県境を跨ぐ橋梁の架設工事だが、どのように管理しているのか。</li> <li>・入札参加の企業要件で、橋梁製作で自社工場を有することとしている理由は。</li> <li>・技術提案は工事の間履行されているということか。</li> <li>・実際に工場で作ったかどうかの確認はしているのか。</li> <li>・技術提案の履行状況等は、最終的に提案通りに行われたかの確認の資料等は残されて蓄積されていくのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理については毎年交代で管理をしており、費用については折半している。</li> <li>・三重県の「専門工事発注における業者選定について」にある要件を適用している。</li> <li>・そうである。技術提案の内容を履行していただく。</li> <li>・はい。工場に検査に行っている。</li> <li>・履行状況については、監督員が段階的に確認しており、書類として残すようにしている。基本的に対策まで求めた場合は、提案した業者に、履行責任がある。提案業者は提案の時もできる範囲で考えて、提案をいただいている。</li> </ul>
工事名 ③一般国道311号 平成29年道路災害復旧工事(国災第662号)〔熊野建設事務所〕	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6者指名しているが、6者という数は妥当な数ということか。</li> <li>・1者辞退したというのはいつの時点か。</li> <li>・今回のこの指名に対して、業者から技術提案等はあったか。</li> <li>・類似工事の入札状況で3者の業者が落札しているが、どのような業者か。</li> <li>・今回指名した6者は熊野事務所管内の業者か。</li> <li>・指名競争入札の理由として緊急を要する工事となっているが、災害後の工事だから緊急性を要するということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい。県の「三重県建設工事等指名競争入札参加者指名要綱」で6者となっている。</li> <li>・指名通知を送ったのち、入札の前に辞退届があった。</li> <li>・総合評価案件ではないので、発注に対する提案というものは無い。</li> <li>・全て熊野建設事務所管内にある業者である。</li> <li>・そうである。</li> <li>・そうである。災害復旧については緊急を要する工事に入る。</li> </ul>

入札等監視委員会 平成30年度 第1回定例会（平成30年5月31日）	
意見・質問	回答
工事名 ④内径800耗配水管布設工事(二期後期・六呂見)[北勢水道事務所]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水管敷設場所が企業用地内の道路であるが、施工業者は当該企業とどのような関係があるのか。</li> <li>・新たに敷設する配水管は全て企業用地である私有地を通るのか。</li> <li>・今回敷設する配水管に関して新たに県が点検等の事業を発注する予定はあるのか。</li> <li>・随意契約になると落札率が98%台くらいに収まるが多いのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連会社であり、三重県建設工事等入札参加資格者名簿にも登録されている。</li> <li>・ほぼ全て企業用地内を通る。</li> <li>・点検等については、別途、県が委託する業者が管路巡視を定期的に行う。</li> <li>・積算基準や単価が公表されている中で、仕様書を見れば大体設計額に近い数字が出ると考えられるが、その中で施工可能かどうかを業者は考えてやっていると思う。</li> </ul>
その他	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回、平成30年度第2回入札等監視委員会の開催日は、平成30年8月31日(金)の予定とする。</li> </ul>	